



平成 23 年度研究報告会の開催について
「まちと共に生きる団地 ～安心・快適・エコライフ～」

UR 都市機構（独立行政法人都市再生機構）は、調査研究等の成果を幅広く一般の方々に知っていただくため、下記のとおり研究報告会を開催いたします。

今回は「まちと共に生きる団地 ～安心・快適・エコライフ～」をテーマに、機構職員による調査・研究の成果報告と、東京会場においては、千葉大学工学部都市環境システム学科教授 小林秀樹 氏の特別講演を行いますので、ぜひ御来場ください。

なお、これらは、国土交通省の住生活月間（10月）の取り組みの一環として開催されるものです。

記

1 概要〔東京会場〕

(1) 日時

平成 23 年 10 月 26 日（水） 10：30～17：00（開場 10：00）

(2) 会場

津田ホール（定員 490 名）

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-8-24

(3) 内容

①特別講演

「縮小社会に向けて：団地を地域の拠点にする」

（特別講師）千葉大学 工学部都市環境システム学科 教授 小林秀樹 氏

②調査研究等の報告

全 6 課題（別紙のとおり）

研究報告会用テキストは、当日会場で配布いたします。

(4) 入場料・テキスト料

無料（事前申請は不要です）

2 その他の会場

東京会場のほか、福岡・大阪・名古屋の会場においても、研究報告会を開催いたします。

〔福岡会場〕

日時 10 月 19 日（水） 10：30～17：00（開場 10：00）

会場 レソラN T T 夢天神ホール

①特別講演

「低炭素社会を目指す ～なぜ、どのように～」

(特別講師) 福岡大学 法学部 教授 浅野直人 氏

②調査研究等の報告

全6課題(別紙のとおり)

[大阪会場]

日時 10月20日(木) 10:30~17:15(開場10:00)

会場 テイジンホール

①特別講演

「住みこなし」が生活を豊かにする

(特別講師) 近畿大学 建築学部 建築学科 講師 佐野こずえ 氏

②調査研究等の報告

全7課題(別紙のとおり)

[名古屋会場]

日時 10月21日(金) 10:30~17:00(開場10:00)

会場 電気文化会館イベントホール(5階)

①特別講演

「人口減少時代に対応した都市と団地のかたちとは？」

(特別講師) 名古屋大学大学院 環境学研究科都市環境学専攻准教授 加藤博和 氏

②調査研究等の報告

全6課題(別紙のとおり)

詳細につきましては、UR都市機構(技術研究所)ホームページを御覧ください。

(アドレス) <http://www.ur-net.go.jp/rd/houkokukai/>

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 技術研究所 環境技術研究チーム

(電話) 042-644-3751

本社 カスタマーコミュニケーション室 報道担当

(電話) 045-650-0887

平成23年度研究報告会

(メインテーマ、特別講師による特別講演及び報告課題)

1 メインテーマ

「まちと共に生きる団地 ～安心・快適・エコライフ～」

昭和30年代初めより、「まち」には多くの「団地」が建設されてきました。それから、長い時間をかけて両者は共に熟成し、「団地」は「まち」の構成要素のひとつとしての姿をあらわしてきています。

現在、この両者には、環境問題や高齢社会などさまざまな共通の課題が発生してきています。

本報告会では、この様な状況の中で、今後「団地」はどのような役割をもって「まち」と共に生きていくのかを考えていきたいと思えます。

2 特別講師による特別講演

[東京会場] 10月26日(水) 津田ホール

「縮小社会に向けて：団地を地域の拠点にする」

(特別講師) 千葉大学 工学部都市環境システム学科 教授 小林秀樹 氏

首都圏でも人口減少にそなえる時が迫っている。その時に、もっとも影響を受けるのは郊外の住宅地である。住民が高齢化する一方で、共働きの若い世帯は都心回帰を強める。その結果、人口が減り、少しずつ空き家が増えていく。では、どうしたらよいのだろうか。団地に生活を支える福祉やサービスを充実し、そこを地域全体の拠点としていくことで、多世代が安心して暮らし、災害にも強い街を生み出していくことができるはずだ。人口減少を逆手にとって、豊かな住環境を実現する方法を提案する。

[福岡会場] 10月19日(水) レソラNTT夢天神ホール

「低炭素社会を目指す ～なぜ、どのように～」

(特別講師) 福岡大学 法学部 教授 浅野直人 氏

[大阪会場] 10月20日(木) テイジンホール

「住みこなし」が生活を豊かにする。

(特別講師) 近畿大学 建築学部 建築学科 講師 佐野こずえ 氏

[名古屋会場] 10月21日(金) 電気文化会館イベントホール(5階)

「人口減少時代に対応した都市と団地のかたちとは？」

(特別講師) 名古屋大学大学院 環境学研究科都市環境学専攻 准教授 加藤博和 氏

3 調査研究等の報告

- (1) 平成 22 年 UR 賃貸住宅居住者定期調査基本分析
- (2) 環境への取組みに関する広報活動報告
 - ～小学校への環境学習の実施～
- (3) UR 賃貸住宅団地屋外空間の温熱環境に関する調査
 - ～都内 3 団地を対象とした夏季夜間の冷気生成について～
- (4) 「ルネッサンス計画 1」
 - ～ストック再生実証試験の評価～
- (5) 高齢者の新しいライフスタイルと住み替えに関する調査研究
- (6) 高齢者の安心居住を支える見守システム構築に関する研究
 - ～見守り安心ネット公田町プロジェクトの中間報告～

なお、下記の各会場では、(1)(3)～(6)の課題の他に、(2)に代えて、次の課題を加えた報告となります。

- 〔福岡会場〕 城野駅北地区における取組みについて
 - ～ゼロ・カーボン先進街区の形成に向けて～
- 〔大阪会場〕 周辺小学校へのリサイクルスタディ実施報告
 - ～環境への寄与等に関する広報活動～
 - 同志社山手エコタウンプロジェクトの取組み
- 〔名古屋会場〕 中部支社における中層EV及び1階デッキ設置の取組みについて